

○交野市立総合体育施設の管理運営に関する規則

平成 9 年 5 月 29 日

教委規則第 4 号

(目的)

第 1 条 この規則は、交野市立総合体育施設条例(平成 9 年条例第 10 号。以下「条例」という。)第 15 条の規定に基づき、交野市立総合体育施設(以下「体育施設」という。)の管理運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(施設の利用時間)

第 2 条 体育施設の各施設の利用時間は次のとおりとする。ただし、条例第 5 条に規定する指定管理者(以下同じ。)は必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、利用時間を変更することができる。

- (1) 市民体育館 午前 9 時 30 分から午後 9 時まで(日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「祝日」という。))については、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで)
- (2) 市民プール 午前 9 時 30 分から午後 8 時 30 分まで(日曜日及び祝日については、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで)
- (3) 市民グラウンド 午前 9 時 30 分から午後 9 時まで(日曜日及び祝日については、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで)

(利用の許可申請)

第 3 条 条例第 9 条の規定により体育施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。ただし、個人利用の場合は、この限りでない。

(利用料金)

第 4 条 条例第 11 条第 3 項に規定する利用料金の区分等は別表に定める額の範囲内とする。

(利用料金の減免)

第 5 条 条例第 12 条の規定に基づいて利用料金を減額する場合は、次に掲げる割合によるものとする。

- (1) 市又は教育委員会が主催する事業に利用する場合 3 分の 1

(2) 体育及び文化活動の振興並びに生涯学習の推進に寄与している団体等で教育委員会が認める団体が利用する場合 3分の1

(3) その他教育委員会が特に必要と認めた場合 教育委員会が指定する割合

2 条例第12条の規定に基づいて利用料金を免除する場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 災害その他の緊急事態の発生により、避難施設として利用する場合

(2) その他教育委員会が特に必要と認めた場合

3 利用料金の減免を受けようとするものは、利用料金減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。ただし、前項第1号による場合は、この限りでない。

4 第1項に規定する割合により計算した額に、100円未満の端数があるときは、この端数は四捨五入するものとする。

(利用料金の還付)

第6条 条例第13条ただし書きの規定による利用料金の全部または一部を還付することができる場合は、次に掲げる場合とし、当該各号のいずれかに該当する場合には、利用料金の全部または一部を還付する。

(1) 利用者の責めに帰すことができない理由により利用することができなくなった場合

(2) 利用者が利用予定日の前月の同じ日（ただし、その日が休館日の場合は、その以前の直近の開館日）までに利用の取り消しを申し出た場合

(利用料金の還付手続き)

第7条 前条の規定により利用料金の還付を受けようとする者は、利用料金還付請求書を提出しなければならない。

(附属設備等の負担額)

第8条 体育施設の附属設備（物品を含む。）の使用にかかる負担額及び光熱水費等の実費負担額については、別に教育委員会が定める。

(施設等の変更禁止)

第9条 体育施設を利用する者（以下「利用者」という。）は、体育施設の施設又は附属設備、器具等（以下「施設等」という。）に変更を加えてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

(原状回復義務)

第10条 利用者は、利用を終了し退出するときは、施設等を利用前の状態に復すさなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会が代わってこれを行い、その費用を利用者から徴収することができる。

(損害賠償)

第11条 利用者は、体育施設の施設又は附属設備、器具等に損害を生じさせたときは、直ちにその旨を教育委員会に届け出て、その指示に従い、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(遵守事項)

第12条 次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- (1) 利用権の貸与や譲渡
- (2) 許可内容と異なる利用や、許可を受けていない施設又は附属設備、器具等の利用
- (3) 許可を受けないで行う物品の販売、金品の募集、張り紙、ビラの配付等の行為
- (4) 所定の場所以外における飲食又は喫煙若しくは火気の利用
- (5) 指定の場所以外での飲酒行為
- (6) 危険物、その他体育施設利用に適当でない物品の持ち込み
- (7) 利用者、体育施設近隣に迷惑となる行為
- (8) その他管理運営上支障となる行為

(入場の制限)

第13条 次の各号の一に該当する者に対し入場を制限し、又はこれを拒否し、若しくは退場を命ずることができる。

- (1) 伝染性の疾病がある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 管理上必要な指示に従わない者

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成29年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

(経過措置)

- 2 施行日前になされた施行日以後に係る利用許可申請等は、改正後の交野市立総合体育施設の管理運営に関する規則の規定によりなされた利用許可申請等とみなす。

別表（第4条関係）

1 市民体育館

(1) 専用利用料金

(単位：円)

利用時間区分 利用施設		9:30 ～ 12:00	13:00 ～ 15:00	15:00 ～ 17:00	17:00 ～ 19:00	19:00 ～ 21:00	全 日 9:30 ～ 21:00
メインアリーナ全面	週 日	7,200	6,100	6,100	6,100	7,000	34,000
	土曜日	8,500	7,000	7,000	7,000	7,000	38,300
	日 祝	8,500	7,000	7,000	—	—	—
メインアリーナ 1/2 面	週 日	3,600	3,050	3,050	3,050	3,500	17,000
	土曜日	4,250	3,500	3,500	3,500	3,500	19,150
	日 祝	4,250	3,500	3,500	—	—	—
サブアリーナ全面	週 日	3,900	3,000	3,000	3,000	3,700	17,400
	土曜日	4,600	3,700	3,700	3,700	3,700	20,300
	日 祝	4,600	3,700	3,700	—	—	—
会 議 室	1 室	1,400	1,100	1,100	1,100	1,300	6,300
控 室	1 室	700	500	500	500	600	3,000

備 考

- 1 この表は、施設を専用して利用する場合について適用する。
- 2 日祝とは、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号。以下別表において祝日という。）に規定する休日をいい、週日とは土曜日及び日祝以外の日をいう。（以下別表において同じ。）
- 3 中学生以下の者、65 歳以上の者又は心身障害者（身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者をいう。以下別表において同じ。）の団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の 2 分の 1 に相当する額とする。ただし、その団体が市内に住所を有しない場合を除く。
- 4 市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の 2 倍に相当する額とする。
- 5 アマチュアが利用する場合で、利用者が入場料又はこれに類するもの（以下別表において「入場料」という。）を徴収するときの利用料金は、この表の金額の 5 倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の 10 倍に相当する額とする。
- 6 アマチュア以外が利用する場合で利用者が入場料を徴収するとき、又は営利を目的とするときの利用料金は、この表の金額の 10 倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の 20 倍に相当する額とする。
- 7 延長利用の利用料金は、当該日における利用施設の利用料金をもとに次の基準で算出した額とする。ただし、その額に 100 円未満の端数が生じたときは、その端数は切り上げるものとする。
 - (1) 正午から午後 1 時までの間 午後 1 時から午後 3 時までの利用料金の 4 分の 1 相当額
 - (2) 特別の許可を得て利用する日祝の午後 5 時以降 土曜日の当該時間帯の利用料金と同額
 - (3) 特別の許可を得て利用するその他の時間帯 30 分につき当該日における午後 7 時から午後 9 時までの利用料金の 4 分の 1 相当額

(2) 一般開放利用料金

利 用 施 設	利 用 者 区 分	単 位	金 額	利用時間
メインアリーナ サブアリーナ	一 般	2 時間	300 円	午前 1 0 時～午後 8 時まで（日祝は午 前 1 0 時から午後 4 時まで）
	特 別	2 時間	200 円	

備 考

1

この表は、一般開放施設を個人で共用利用する場合について適用する。

2

特別とは、小学生、中学生、6 5 歳以上の者、心身障害者（介護者 1 名含む。）について適用する。

3

心身障害児（中学生以下の心身障害者をいう。以下別表において同じ。）
は無料とし、その介護者 1 名は特別料金を適用する。

4

小学校就学前の乳幼児は無料とする。

5

市民等（交野市内の在住、在学、及び在勤の者をいう。以下別表において
同じ。）以外については、この表の金額の 2 倍とする。

2 市民プール（トレーニングルーム含む。）

(1) 個人利用料金

利 用 施 設	利 用 者 区 分	単 位	金 額	超過額	利 用 時 間
市民プール	一 般	2 時間	600 円	300 円	午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分まで（日祝は午 前 9 時 30 分から午後 5 時まで）
	特 別 (A)	2 時間	300 円	100 円	
	特 別 (B)	2 時間	200 円	100 円	
トレーニングルー ム	一 般	2 時間	700 円	300 円	
	特 別 (A)	2 時間	400 円	150 円	
	特 別 (B)	2 時間	300 円	150 円	

(2) プール特殊利用料金

団体割引料金 20人以上	一 般	1 人	5 0 0 円
	特 別(A)	1 人	2 6 0 円
	特 別(B)	1 人	1 6 0 円
回数券 11回券	一 般	1 人	6 , 0 0 0 円
	特 別(A)	1 人	3 , 0 0 0 円
	特 別(B)	1 人	2 , 0 0 0 円

(3) トレーニングルーム特殊利用料金

回数券 11回券	一 般	1 人	7 , 0 0 0 円
	特 別(A)	1 人	4 , 0 0 0 円
	特 別(B)	1 人	3 , 0 0 0 円

(4) トレーニングルーム会員利用料金

一 般	月 額	7 , 0 0 0 円
特 別(A)	月 額	4 , 0 0 0 円
特 別(B)	月 額	3 , 0 0 0 円

(5) スイミングスクール会員利用料金

一 般	月 額	4 , 5 0 0 円
-----	-----	-------------

備 考

- 1 超過額は、2時間を超える1時間ごとに適用する。
- 2 特別(A)とは、65歳以上の者について適用する。
- 3 特別(B)とは、小学生、中学生、心身障害者（介護者1人を含む。）について適用する。
- 4 心身障害児は無料とし、その介護者1人は特別(B)料金を適用する。
- 5 小学校就学前の乳幼児は無料とする。
- 6 トレーニングルームは、中学生以下の者の利用はできないものとする。
- 7 市民等以外については、この表の金額の1.3倍とする。ただし(1)

個人利用料金、（２）プール特殊利用料金、（３）トレーニングルーム特殊利用料金は除く。

３ 市民グラウンド

（１）専用利用料金

（単位：円）

利用時間区分 利用施設			9:30 ～ 12:00	13:00 ～ 15:00	15:00 ～ 17:00	17:00 ～ 19:00	19:00 ～ 21:00	全 日 9:30 ～ 21:00
グラウンド*	全 面	週 日	7,500	6,400	6,400	6,400	7,300	35,600
		土曜日	8,800	7,300	7,300	7,300	7,300	39,800
		日 祝	8,800	7,300	7,300	—	—	—
	1/2 面	週 日	3,750	3,200	3,200	3,200	3,650	17,800
		土曜日	4,400	3,650	3,650	3,650	3,650	19,900
		日 祝	4,400	3,650	3,650	—	—	—
	控 室		1 室	700	500	500	500	600

備 考

- この表は、施設を専用して利用する場合について適用する。
- 中学生以下の者、65歳以上の者又は心身障害者の団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の2分の1に相当する額とする。ただし、その団体が市内に住所を有しない場合を除く。
- 市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の2倍に相当する額とする。
- アマチュアが利用する場合で、利用者が入場料を徴収するときの利用料金は、この表の金額の5倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の10倍に相当する額とする。
- アマチュア以外が利用する場合で利用者が入場料を徴収するとき、又は営利を目的とするときの利用料金は、この表の金額の10倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この

表の金額の20倍に相当する額とする。

6 延長利用の利用料金は、市民体育館と同様の基準とする。

4 その他施設（エントランスホール等）

区 分	単 位	金 額（円）
土地	1 m ² 1 日	5 0
床	1 m ² 1 日	1 5 0

備考

- 1 面積の計算については、1 m²に満たない端数は、1 m²とする。
- 2 中学生以下の者、65歳以上の者又は心身障害者の団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の2分の1に相当する額とする。ただし、その団体が市内に住所を有しない場合を除く。
- 3 市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の2倍に相当する額とする。
- 4 アマチュアが利用する場合で、利用者が入場料を徴収するときの利用料金は、この表の金額の5倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の10倍に相当する額とする。
- 5 アマチュア以外が利用する場合で利用者が入場料を徴収するとき、又は営利を目的とするときの利用料金は、この表の金額の10倍に相当する額とする。ただし、市内に住所を有しない団体が利用する場合の利用料金は、この表の金額の20倍に相当する額とする。